

結納品

長熨斗 ながのし しわをなくして平にする
酒肴 しゅこう (家内多留) この家中入喜
 んでとどまる意味

金宝包 (結納金) 帯、又は袴

勝男節 かつおぶし りっぱな強い男

寿留女 するめ

子生婦 こんぶ 喜び

友白髪 麻縄

末広 末は広がる

結納品中身

小袖、長じゅばん

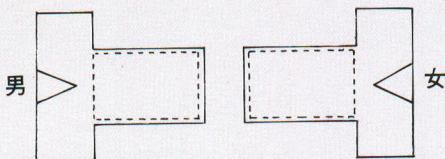
たび (丸のもの) この家のものだから
 (サイズがあわなくても)

帯 (丸おび) 帯上げ、帯とめ、こし帯

男の方がもらいに行く時 (たたまずもつていく) 着物

着物を女の方がもって行く時、たたみがえし

※点線部分をかさねてたたむ



昭和初期の頃

上段 (式) 奥座敷で新郎、新婦、仲人

向見参 2人 もらいにくる人 出船おしょうばん
 1人

式終ると一番茶 (今は桜茶)

おちつきでうどんを食べて (すえながくつながるよ
 うに)

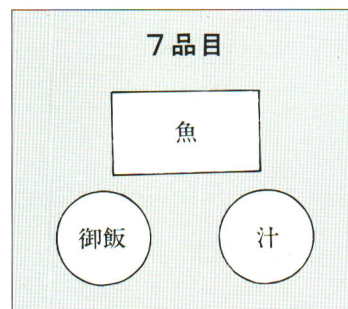
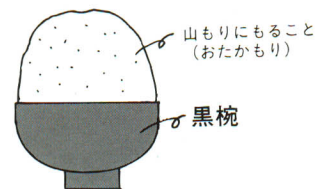
すいものは、式が終るまで5回もとりかえる

本膳 おたかもり みそ汁

7品目えんぎが良い

別れる時は三くだり半7品目の半分意

おたかもり
 (山もりにもること)
 黒おわん



大判 部落の人を招待 (魚サケ) などの引物。今
 はコップ、なべ、

祝金 200円時代

結婚式料理

その他、日常の食事

- ①麦めし (朝) 夜はジャガイモ、大根、米とまぜてたいて食べた
- ②味噌汁の中に (洗った米をいれて) ささぎやじゃがいも御飯のかてにいれてたべた。フキ、大根の葉なども食べた。サシミなどは、年2回ぐらいしか食べられなかった。
- ③11/15油しめ 年1回3合でまにあわせた (そ食は長命、美食は短命)